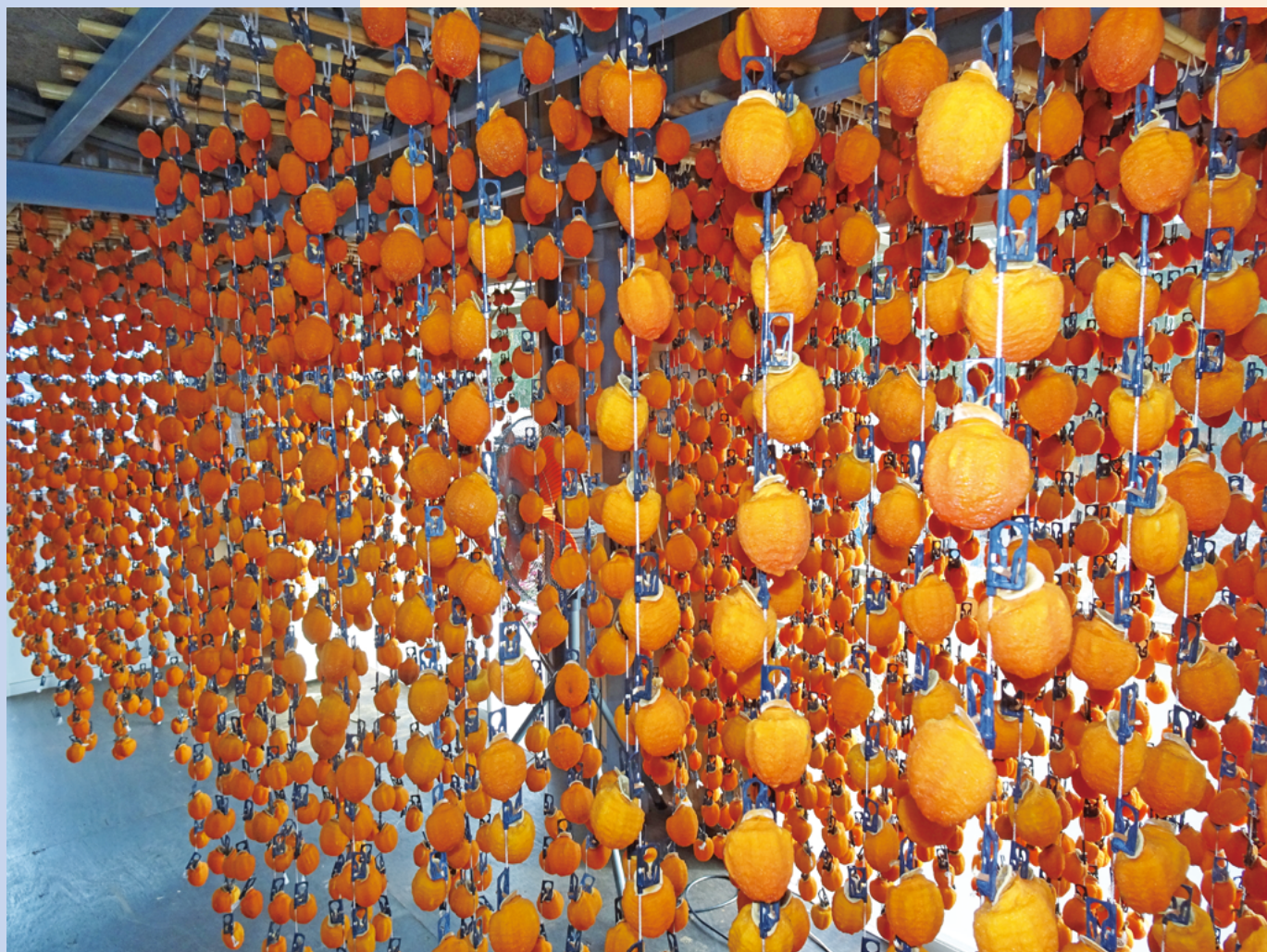


会報 ながの

第213号
令和5年新春



長野県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

表紙写真の説明 『初冬の風物詩 柿すだれ』

少し前まで多くの農家が軒先で柿を干している様子を楽しめましたが、今では見ることがめっきり少なくなりました。

種が多いほど縁起が良いとされ、正月は親戚みんなで炬燵に入って競い合って食べたものです。
(撮影地 飯田市) 広報部 平林 章

迎春

令和5年元旦



長野県土地家屋調査士会

会 長	猪 飼 健 一
副 会 長 (総務部・財務部担当兼財務部長)	海 野 正 寿
副 会 長 (業務研修部担当)	田 口 正 幸
副 会 長 (広報部担当)	片 山 信
副 会 長 (社会事業部担当)	塩 川 豊
理 事 (総務部長)	西 沢 正 樹
理 事 (総務部)	箕 輪 晴 夫
理 事 (総務部)	國 枝 昌 之
理 事 (財務部次長)	久 保 智 則
理 事 (業務研修部長)	松 永 宏 樹
理 事 (業務研修部)	小 池 純 平
理 事 (業務研修部)	斎 藤 秀 樹
理 事 (業務研修部)	小町谷 勝 也
理 事 (業務研修部)	関 戸 正 幸
理 事 (広報部長)	平 林 章
理 事 (広報部)	品 田 尚 志
理 事 (広報部)	荒 井 伸 介
理 事 (社会事業部長)	牛 越 一 明
理 事 (社会事業部)	宮 川 登美男



新年のごあいさつ

会長 猪飼 健一

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましてはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、会員の皆様には日頃より本会の事業運営にご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は長野県において7年に1度の諏訪大社御柱祭と同じく7年に1度の善光寺御開帳が同時に開催された年であり、コロナ禍が継続している中ではありましたが、多くの観光客が久しぶりに長野県を訪れ賑やかな場面を見ることができました。

当会でも関東地方11会の土地家屋調査士会が持ち回りで例年開催する親睦ゴルフ大会を当番会として3年ぶりに開催し、多くの同業者が久しぶりに顔を合わせ懇親を深めることができたのは大変嬉しく主催者の責任を果たせたことに安堵いたしました。

しかしながら未だ感染の脅威が去らず第8波を迎えている状況で活動の制限があり、昨年も集合型研修の開催が適わず、会員の皆様に直接お目にかかることができなかつたことは残念でなりません。そろそろ皆さんから会長がどこの誰だったか忘れられるのも時間の問題と気をもんでいます。

さて、新年のご挨拶ではありますが少しだけ身の回りの動向についてお話しいたします。近年の所有者不明土地、相続登記未了土地問題等

による所有者の所在が不明なことにより円滑な不動産の取引の阻害要因となっていることから、令和4年4月14日付で法務省より「表示登記に関する登記における筆界確認情報の取扱いに関する指針」が通知されたことは既に皆様ご承知のことと思います。

内容の詳細について記すことは省略しますが、我々土地家屋調査士が土地分筆登記、土地地積更正登記等を申請する場合において、最も核心的な作業である現地での関係地権者との筆界確認のための立会作業が、上記問題の影響から度々成り立たなくなっている時代であり、申請に添付する「筆界確認情報」（いわゆる筆界確認書や立会証明書）の取扱いについて具体的な条件の下、指針に明文化されたことは時代に即し有効な事案であります。

土地家屋調査士業務の根幹で関わる筆界確認における内容でありますので、より会員の皆様に統一的に理解していただく必要もあることから、年末年始にかけ本会研修の一環として、指針に関するオンライン説明会を業務研修部で実施いたしました。

この指針が通知されたことを踏まえ、全国の法務局において調整されている事務取扱要領が一斉に更新され、長野地方法務局においても一昨年改訂されたばかりの「土地建物調査実地要領」が改訂、昨年10月より施行されました。第26条から30条までが大きな変更点となります

が、土地家屋調査士としての実務上の考え方に特別な変更はなく、所有者不明等による筆界確認情報の添付が困難な場合の取扱いにおいて、調査報告書に専門家としての知見と具体的な分析、判断理由が明記されることが求められるのはこれまでと同様であります。

しかしこれまでと同様の考え方とは言え、ご自身のその考え方が当該要領や上記指針と比べて自分本位の考え方になっていないか、調査報告書の内容に不足していることはないか、先のオンライン説明会資料や要領を見直していただき今一度ご確認をお願いしたいと思います。

また、令和3年の民法改正（令和5年4月施行）に伴い、①隣地使用権の規律の整備と明確化、②共有の見直し、③財産管理制度の見直し、④相続制度の見直しがなされました。

その中の新たな財産管理制度において「所有者不明土地・建物の管理」「管理不全状態にある土地・建物の管理」で選任される財産管理人として、事案に応じて弁護士、司法書士等とともに土地家屋調査士が担うこととされました。

そこで昨年より日調連では管理人制度の概要、実務、意義についての研修が開始されました。内容は基本中の基本であり、情報も少なく会員全員が受講できる状況とはなっておりません。今後内容の充実や受講枠の拡大などを強く望みますが、土地家屋調査士の新たな責務としての活躍の分野であり、社会からの期待に応えることが求められますので、今後の機会に積極的に参加していただくようお願いいたします。

一昨年から始まりました年次研修も初年度は集合形式で会場にて開催できたものの、2回目の昨年度は感染防止対策としてオンライン研修

となりました。研修の立て付けが集合形式を前提としているので、自宅や事務所で一人画面を見ながらというのは受講のモチベーションが保てないものです。研修に関与する役員さん達はこれ以外にも本会研修や新人研修の段取りを休む間もなく企画準備していただいております。本当にご苦労いただいております。

2年前は感染の危険性から研修自体を開催しない手段を選択せざるを得ない状態でした。その後環境が整いYouTube等を利用したオンライン研修が多くなっていますが、早く隣同士で研修の内容について議論できる状況が待ち望まれます。

年次研修の内容は主に倫理がテーマであり、あまり楽しい内容ではありません。そのような内容だからこそ同業者同士で直接の議論が必要です。

昨今、残念ながら事務局へ会員の苦情の申出が増加傾向にあります。全て会員に非があるものではありませんが、ネット社会の世の中の傾向として、かつては苦情にならなかったことも苦情として申し立てやすい風潮にあるように思えます。

一方で団体組織の高いコンプライアンスが求められるようになり、より高い職業倫理を備えるよう、継続的に組織が努力する義務を持ち、高い資質を持つ専門家であるよう年次研修が設けられました。

土地家屋調査士法第2条（職責）に謳われる「品位」、「公正かつ誠実」は何をもって品位なのか曖昧な表現に聞こえ、いざ日常業務の自らの姿勢に照らし合わせてみると自信をもって一点の曇りも無いと言えるか些か不安でもあります。ただこの曖昧であるがゆえにあえて自分に厳しい基準を当てはめているのも事実です。

めでたい正月早々疎ましい文章になってしまい失礼しました。

令和3年から始まりました2年間の役員任期はあと4ヶ月ほどとなりました。次期の執行部に引き継ぐためのまとめの時期となっており、各事業部にはこれまでの活動記録をしっかりと蓄積し承継できるようお願いしています。

年々会員の減少傾向に歯止めが掛からず、小さくなりゆく組織で例年以上の成果を出すことの難易度は上がるばかりです。この先、更に新しい発想と知恵が求められる中、残る任期を全うしたいと思います。

本年が皆様にとりましてご健勝で、益々ご発展される年になりますよう祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。





新年の御挨拶

長野地方法務局長 後藤 芳昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、御家族おそろいで健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

年の初めに当たり、平素から当局が行う法務行政に対しまして、格別の御理解と御協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

我が国において新型コロナウイルス感染症の最初の感染者が確認されてから、はや3年が経過しようとしています。国内における感染症拡大は一向に終息の気配を見せず、いまだ油断することのできない状況が続いています。

関東財務局長野財務事務所によれば、昨年11月時点での県内経済は、緩やかに持ち直していると判断され、その内容は、個人消費は「緩やかに持ち直している」、生産活動は「持ち直している」、住宅建設は「前年を上回っている」とされていました。私の実感としても、近所にある善光寺の賑わいが、御開帳効果もあったと思いますが、一昨年のもとは格段に違いました。ウィズコロナの新たな段階への移行が進められるなか、本年も長野県が元気であることを期待しています。

会員の皆様には、長引くコロナ禍の間、感染症拡大防止を図りながら効率的かつ迅速な処理を維持するため、オンライン申請の積極的な活用について、御理解と御協力をいただいていたところ。引き続き、新型コロナウイルス感

染症感染拡大防止のため、オンライン申請及び登記事項証明書等のオンライン請求の利用を促進していただきますよう、お願いいたします。

さて、不動産の登記行政を取り巻く現下の情勢については、所有者不明土地対策のための諸施策が推進され、表示登記に関するものとして「筆界の認定に関する表示登記の運用の見直し」が掲げられ、これに基づいて令和4年4月14日付けをもって「表示に関する登記における筆界確認情報の取扱いについて」及び「筆界確認情報の取扱いに関する指針」が法務省民事局から示され、隣地の所有者が不明な土地や共有者（相続人）が多数存在する土地等について、取引に必要な登記手続を円滑に行うことを可能とするため、申請人の負担軽減を図りつつ、筆界認定の適正性を確保する新たな運用が開始されています。

当局においては、上記指針の発出以降、長野地方法務局土地建物実地調査要領について、貴会から助言及び協力をいただくことにより、実地調査要領の一部を改正し、令和4年10月1日から、これらの運用を開始しています。

また、登記所備付地図整備作業については、平成15年6月、内閣に設置された都市再生本部から「民活と各省提携による地籍整備の推進」の方針（「平成地籍整備の方針」）が打ち出されたことを契機として、いわゆる「骨太の方針2004」以降、政府の経済財政改革の基本方針に盛り込まれ、平成16年度から都市部の地図混乱

地域を対象として計画的に進められていることに加え、「経済財政運営と改革の基本方針2021」、「成長戦略実行計画」及び「成長戦略フォローアップ」（いずれも令和3年6月18日閣議決定）においても着実に推進することが盛り込まれており、政府として取り組むべき重要な事業の一つとして位置づけられています。

当局においては、令和4年度・5年度登記所備付地図作成作業（1年目作業）の対象地域（長野市大字北尾張部、大字石渡、大字南堀及び大字小島の各一部）について、公益社団法人長野県公共嘱託登記土地家屋調査士協会が作業機関として、現在、基準点測量及び事前調査等の作業が行われています。

さらに、筆界特定制度に関しましては、会員の皆様に筆界調査委員として、あるいは申請代理人として、積極的に関与していただいているところですが、今後とも、制度に対する国民の期待と信頼が一層揺るぎないものとなるよう努

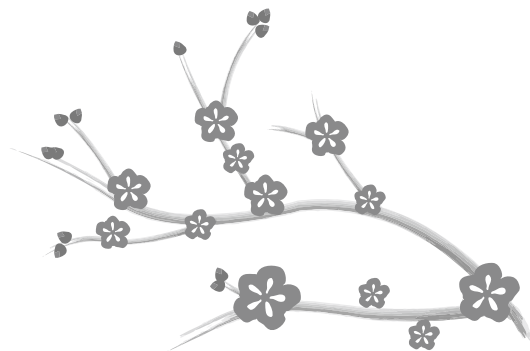
めていきたいと考えておりますので、引き続きの御協力をお願いいたします。

これらの事業や課題につきましては、筆界と表示に関する登記の専門家である会員の皆様の御支援と御協力なくしては、到底立ち行きませんので、今後とも、なお一層の御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

当局では、信頼され進展する法務局を目指して取り組んでおり、今後とも、法務局の果たすべき使命を自覚し、行政サービスの維持、向上に力を尽くしてまいりますので、引き続き、貴会及び貴会員の皆様の変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

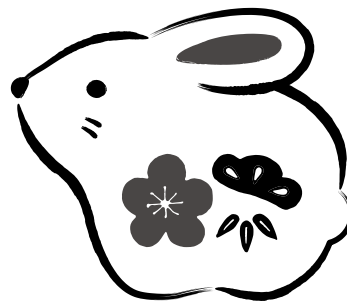
終わりに、新たな年が、貴会と貴会員の皆様にとりまして、健康で充実した年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新春特集 誌上インタビュー

年男・年女 に聞く



今年、年男・年女を迎えられた会員の皆様に寄稿いただきました。

長野支部 小池 秀巳

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

妻の父が司法書士だったから。恥ずかしい話、結婚するまで土地家屋調査士という職業の存在自体知らなかった。教員になるため長野の大学に進学して、地元静岡県で念願の社会科教師になったが、公務員は私のライフスタイルには合わなかった。

(2) 思い出に残っている仕事は？

仕事にはならなかったが今から20年前、とある村の農地の分筆を依頼された。

4000㎡の農地を2800㎡と1200㎡に分けるといふ依頼だった。費用を聞かれ、かなり遠慮がちに「20万円くらいかかりますけど…」と言うと、「そんなに掛かるのか。だったらお

前には絶対に頼まない!!」と激怒された。その村では調査士報酬が低廉なのは常識だったようで、事務所を長野市に移転するきっかけになった出来事だった。

(3) あなたの趣味は？

最近はブルーベリー栽培に夢中です。以前は「コルディア」という三菱の旧車を路上復帰させることが夢でしたが、三年前の台風19号災害で水没し諦めました。

(4) あなたの健康法は？

犬（コーギー）と朝・晩に散歩すること。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

コロナが治ったらオフライン研修会を積極的に実施して欲しい。

飯山支部 海野 広太郎

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

幼少期より祖父や父の調査士としての姿を見ており、いずれ私もこの仕事に携わる事になるであろうと漠然とっていました。

(2) 思い出に残っている仕事は？

私が中学生の頃に、手伝いとして山林に杭を何本も運びました。寒い時期に小雨が降る中、泥だらけになり、働くことの大変さを痛感しました。

(3) あなたの趣味は？

映画鑑賞。名作“BTF(Back to the Future)”はビデオテープが擦り切れるほど観た記憶があります。

(4) あなたの健康法は？

健康法という程のものではありませんが、休日の前日の晩は好きなものを食べ、好きな酒を飲みリラックスする事で、精神的ストレスの緩和を図っております。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

まだ入会して間もないので特にございませ

ん。

(6) その他

11月1日(本アンケート回答11月5日)に2人目の子供が産まれました。

調査士として新人で、親としてもまだまだ新人ですが、諸先輩の方々や、現役で職務に当たっている父のような、立派な調査士、そして父親になれるよう、日々精進してまいります。

上田支部 竹内 睦夫

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

長男が家業を継いだ、ということです。

(2) 思い出に残っている仕事は？

特にありません。地目変更のために山へ登った時、遠くに豆粒ほどの富士山が見えたのが、思い出と言えれば思い出です。

(3) あなたの趣味は？

引きこもりがちな自分をアウトドアに引きずり出すために、ときどき釣りをします。最近ではテンカラ仕掛に小さな毛針をつけてジ

ケンを釣っています。

(4) あなたの健康法は？

犬を飼っているので否応なく毎日散歩しますが、さて、私の健康法なのか犬の健康法なのか。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

役員の皆様、本当にご苦労様です。

(6) その他

年寄はつい昔話をしたくなりますが、控えておきます。

佐久支部 竹花 由紀子

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

初めは司法書士だけで仕事をしておりました。その時、依頼者より、「何故あなたは表示の登記が出来ないのか?」「土地家屋調査士とは?」との疑問を投げかけられる事が多々ありました。中には、調査士と司法書士

が存在している事に不満を感じる方もおられ、なんとも言えない気持ちになった事が調査士になったきっかけです。

(2) 思い出に残っている仕事は？

思い出に残っている仕事は何かと考え始めると、思いの外たくさんある事に気が付き、どれを書けば良いのか迷いました。仕事を通

じ、多くの人や土地建物と出会うことが出来る事が楽しい反面、権利の登記とは異なる対応や考え方などに苦慮する毎日です。

(3) あなたの趣味は？

胸を張ってお伝えできる趣味は思い当たりません。強いて言えば、我が家の『犬達』でしょうか。家族から、「車好きの人が車に時間とお金をかけるように、あなたは犬達に時間とお金をかけている」といつも言われています。あと、私と同じうさぎ年の『娘』。彼女が空手で頑張る姿を見る時、とても楽しいです。

(4) あなたの健康法は？

驚くほど不摂生な生活をしています。人間ドックの予定日が近づいているので、そろそろお酒の量を減らさなければいけないと思っはいます。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

オンライン形式の研修会を行って頂き、感謝しています。時間を気にすることなく視聴出来、本当に助かります。

(6) その他

多くの先生方からご教示いただき、とても勉強になっています。ありがとうございます。

諏訪支部 坂本 勉

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

測量を生業としていましたので、土地家屋調査士になりたいと思っていました。

3回前の御柱祭のときになんとなくスイッチが入って、真剣に勉強した覚えがあります。

あの時に受かってありがたいと思っています。

(2) 思い出に残っている仕事は？

山梨県の南部町という所で、中部横断道の用地の測量を行っているときに、体温を超える暑さと湿度で倒れそうになった事がありました。

いつもは標高800m前後で仕事をしているのであまり熱中症のような経験がありませんでしたので、その後はちゃんと休憩と塩分補給をするようになりましたし、あまり無理をしなくなりました。

(3) あなたの趣味は？

長野県に住んでいるので地の利を生かしたいと思っています。

スキーやハイキングなどを続けながら他の事（品のある趣味）も出来ればいいなと思います。

(4) あなたの健康法は？

こればかりは実行していませんし正直わかりません。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

各役員の方々は本当にご苦労様です。調査士会への要望ですが、会議等もなるべく松本近辺でやっていくような方向にできれば、南信などからも参加しやすくなるかなと思います。

伊那支部 保科 道典

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

父親が司法書士・調査士事務所をやっている、その事務所を継ぎました。(司法書士にも挑戦しましたがダメでした。)

(2) 思い出に残っている仕事は？

調査士になって2年目に受けた仕事で土地の表題登記です。旧公図と土地改図面とが接しているところで、その隙間になってしまっている未登記の山林でした。本来、未登記の土地は国有の推定を受けるということで非国有の証明書を付けなければならず、県の財務局まで行って証明書の交付をお願いしたのですが、そのような証明はできないということで、登記官のアドバイスにより下草刈りや枝払いをお願いしていた森林組合の証明書を添付してなんとか完了することができたもので

す。2年以上かかって完了した仕事で今でも心に残っています。

(3) あなたの趣味は？

カラオケ

(4) あなたの健康法は？

3食食べて、よく寝ることです。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

自分の仕事の合間に会員のために会報をつくられていることに感謝します。ご苦労様です。

(6) その他

10年程前に父親の介護で腰を痛めてから、だましまし過ぎしてきましたが、最近膝や肩まで痛みが出るようになってきて、整形外科に通っていますが、なかなか良くなりずいつまで調査士の仕事ができるのかと、考えてしまうこの頃です。

飯田支部 久保田 雅洋

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

幼い頃から調査士である父の姿を見てきた影響で、高校を卒業する頃には調査士になろうと決めていました。

(2) 思い出に残っている仕事は？

雪山の現場、命綱をつけての現場、獣が出た現場、過酷な現場ばかり思い出されます。今では、新しい道路やトンネル、建築物が建てられ、当時の面影もありませんが、その場所を通るたびに過去の苦労を思い出します。

(3) あなたの趣味は？

高校野球観戦です。コロナ前は毎年甲子園に観戦に行っていました。

自身も野球をやっていて、今年は母校のOBでマスターズ甲子園予選に出場しました。世代を越えて先輩後輩と関わることができ良い思い出になりました。

(4) あなたの健康法は？

運動不足解消でスポーツジムに通っています。

あとは、息抜きにお酒を嗜んでいます。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

毎回楽しみに拝見させていただいています。

松本支部 成田 充

(1) あなたが調査士になったきっかけは？

私が産まれた頃から父が調査士をしており、物心ついた頃には、自分も将来は調査士になるものと思っていました。高校・大学の卒業、就職してもその思いは変わらず、調査士を目指すことにしました。

(2) 思い出に残っている仕事は？

旧家のリフォーム工事に伴う融資条件成就のための建物表題部変更登記。依頼された増築部分は5㎡にも満たないのに現地調査を行ったら未登記建物が複数棟あったり、何なら未登記建物同士が増改築により合体していたり、道路拡幅に協力して所在地番まで変わっていたりした現場でした。お客様の思っている内容（母屋の5㎡未満の増築登記）と実業務の内容（母屋の増築登記のほか、付属屋の新築・増減築・合体等の登記）の乖離が激しく、原因等の聴き取り調査への協力を得るのに苦労しました。できあがった登記申請書の原因及びその日付欄には呪文のように日

付と原因の記載が並び、調査士試験の問題集でもちょっと見ない位の記載になりました。無事に登記が完了した後、稀登記事例として申請書の副本を事務所の片隅にヒッソリと保存しました。

(3) あなたの趣味は？

数年前までは、スノーボードが趣味でしたが、子育てに追われゲレンデが遠退きました。代わりとっては何ですが、最近ベースギターを始めました。時間のあるときに義父と義妹の夫と一緒に演奏して楽しんでおります。子供が大きくなったらゲレンデに復帰したいなぁ。

(4) あなたの健康法は？

特にありません。そろそろ健康にも気を配らなければと思っておりますが、何から始めたのか。身近なところで、子供とお散歩から始めたいと思います。

(5) 調査士会と会報へのご意見は？

役員の皆様、いつもありがとうございます。これからもよろしく願います。



各部会からの報告等

総務部より（関東ブロック親睦ゴルフ大会）

総務部長 西 沢 正 樹

会員の皆様、日頃は会務に対しご理解ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。今回会報への原稿依頼を頂きましたので、ここ最近の総務部の活動の報告をしたいと思います。会務に関わる迄あまり知りませんでした。通常の活動のほかに日調連の関東ブロックの活動があります。一つは担当者会同と言って年に2回程関東ブロック11会の総務担当者が集まり、日頃の業務において分からないことや他会ではどうしているか等、意見の交換会が開催されたり、また総会も11会の持ち回りで行われていることも役員になって初めて知りました。そして関東ブロック親睦ゴルフ会なるものもあり、これが今年11年に一度の当番会が長野会とのことで、昨年準備し、運営委員会を作り、今年になって8回程の打合せと会議をしました。そして10月16日、17日の2日間にわたり、前夜祭とゴルフ大会が開催されました。今回はこの親睦ゴルフ大会の報告をします。

たかがゴルフ大会と侮っていましたが、今回が39回目の伝統的な親睦行事であり、関東11会から前回は150名程集まったと聞き、会をあげて円滑でスマートな運営をし、おもてなしをし、楽しんでもらおうと相当な意気込みで総務部としては準備をしました。特に前夜祭は総務部中心にどうすれば盛り上げられるか、どのようなおもてなしをすればよいか、そばの早食い大会を前座に、その後大物ゲストを呼びライブ&トークという構成で臨むことになりました。当

方がそばの早食いを提案した為、主にこちらの担当をしました。そばの分量を実際に部内で食べてデモンストレーションをし、タイムを計って検討したりしました。20分の持ち時間の中で予選と決勝を行うことにしました。本番では女子アナの竹井さんと実況を行い、なんとかこのそば早食い大会が盛り上がりの中、無事に成功することができたのではないかと安堵した次第です。そして、大物ゲストとして「ものまね四天王」の清水アキラ氏のライブ&トークショーはさすが笑いのツボをおさえた、プロの芸人さんの円熟の芸を見た感じがしました。トリとして猪飼会長と清水アキラ氏のトークでは土地家屋調査士との意外なつながりも聞いて、より身近に感じました。そして2日目のゴルフ大会は、朝早くから総務部2名で辻立ち、長野支部6名の協力のもと、トータルステーションによるドラコン計測があり、広報部による写真撮影、そして最後に表彰式の進行や賞品お渡し等、少し雨になりましたが競技もなんとか終え、無事2日間を終えることができました。

通常の会務の他に、このイベントはスタッフの負担が大きく、終わった後は力が抜けた感覚でした。他会の会員さんをお招きしてもてなすことは大変でしたが、終わってみればスタッフみんなで協力して何かを作り上げたみたい楽しい行事だったかなと思います。このイベントに携わったすべてのスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。

業務研修部より

業務研修部部长 松 永 宏 樹

夏に流行した第7波が収束したと思いきや、既に第8波の足音がじわじわと聞こえてくる今日この頃、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

業務研修部は、今期発足以来、集合研修を計画しては、コロナに潰されて…を繰り返しています。この1年半ほど、なかなか皆さんがお行き会える機会を作る事が出来ず、申し訳ないと思いつつも、仕方ないと気持ちを整理するジレンマが続いています。

そんな中、久しぶりに本会主催の新入会員研修会を集合で開催することが出来ました。

この研修会は、通常期であれば2年に1度開催されていましたが、昨今の事情によって、これまで開催が見送られ、本年も春に予定したものを延期した経緯がありました。そのような中、「新入会員研修会は集合して研修をするべき」という田口副会長の肝いりで開催された今回の研修の受講者は、18人が対象となり、久しぶりに大人数が集う研修会となりました。新入研修会の目的は、長野会のルールを知ってもらう事、新入会員間のコミュニケーションをとってもらう事だと私も考えており、午前中は、猪飼会長の「会員心得と会則について」、田口副会長から「報酬について、境界立会について」、午後は株式会社いとう様ご協力のもと、関戸委員長を中心とした測量研修委員会主催によるGNSS測定の座学と実地演習、その後研修会場に戻って質疑応答と時間いっぱい研修となりました。

その後、希望者による懇親会を行い、懇親を深めてもらいました。想像以上に盛り上がった事は、私の胸にしまっておきます。私ごとでは

ありますが、私が新入会員だったころに出来た縁があり、飲みに行ったり、旅行に行ったりと、途切れることなく続いています。今では同業他者ではなく、家族に近い存在になってきています。新入会員の皆様には、今回の研修会をきっかけにして頂いて、横のつながりを感じてもらいながら、より良い調査士人生を送って頂きたいと思います。

昨年10月におこなわれた年次研修については、本年度は北信地区を対象に行いました。くどいかもかもしれませんが、この研修は、5年の間に1度、会員の皆様に必ず受けて頂く事になっている「義務研修」です。受講義務がある為、あまり無理をする事ができず、こちらの研修はWebによる研修となりました。直前まで集合形式で計画していたので、私としては残念な気持ちもありましたが、YouTubeの視聴や出席表の提出を求めたにもかかわらず、出席率が86%と高い水準を維持することができホッとしています。

この他、本年度は、法務局の土地建物実地調査要領の改訂について、表示登記研究委員会が開催されました。この表示登記研究委員会は、法務局職員と土地家屋調査士会員で構成する委員会なのですが、ここ数年開催が見送られていました。法務局と土地家屋調査士会を結ぶ大切な委員会ですので、継続して発展させていきたいと考えています。当委員会は、本年度中にもう一度開催を計画しており、委員会会則を今の時代に即したものに修正しようと話し合っているところです。

この文章が皆様のお手元に届くころには、Webで開催した、第1回会員研修会が終了して

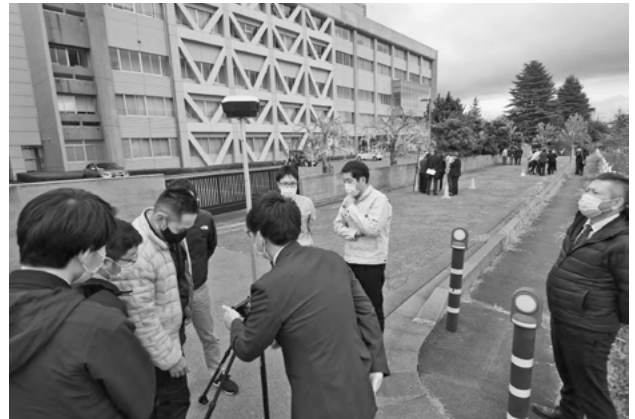
いる事と思います。業務研修部で作成したYouTubeビデオはいかがでしたでしょうか？この収録・編集は、業務研修部理事と長野支部副支部長を兼務して頂いている小池理事と、同じく長野支部理事の北條さんをお願いして作ってもらいました。収録を重ねるごとにクオリティが上がり、とても良い研修教材になったと思います。講師として出演して頂いた小町谷理事、斎藤理事本当にありがとうございました。そして、外部講師としてご講義を頂いた長野地方務局総括表示登記専門官の和田様、関東信越



税理士会松本支部の田口先生、埼玉県土地家屋調査士会の会員で弁護士でもある若野先生、大変ためになるご講義有難うございました。この紙面を借りて御礼申し上げます。

こうやって書いていると、私の場合、色々な縁で知り合った方に助けられて業務研修部の運営をさせて頂いているんだなと感じます。

今後は、第2回会員研修会もありますし、まだまだ気が抜けませんが、皆さんのお力添えを頂きながらバトンタッチまで頑張っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。



新入会員研修会を受講して

長野支部 池田愛弓

新入会員研修を受講させていただきました。

研修につきましてはこれから土地家屋調査士の業務を行う上で非常に有意義なものとなりました。

報酬についての講義、GNSS測量の講義等、どれも為になる内容ばかりでした。

特に報酬についての講義は、日頃なかなか他の方に聞きにくい内容であるため、見積もりを出す度に不安だったのですが、今回いくつかの具体的なケースを基に他の先生方の見積もり事例などを伺うことができ、不安を解消することができました。

そのほか、GNSS測量の講義・実地演習、平板測量のDVD視聴についても大変興味深い

内容でした。

そして研修後の懇親会にあたっては、長野県内のさまざまな先生方とお話をさせていただくことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

調査士の登録後コロナの影響で研修や懇親会等になかなか出席できる機会がなかったのですが、今回このような機会を与えていただき、研修を開催していただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

猪飼会長のお話にあった「自分はどのような調査士を目指すのか」を常に念頭に置きながら今後の業務に励みたいと思います。

広報部からの報告とお願い

広報部 片山 信

関東ブロック協議会総会報告

7月3日午後より翌4日昼まで、群馬県会主催で3年ぶりの対面式での関東ブロック協議会の総会が開催されましたのでそのご報告します。長野会からは会長・副会長・部長 計7名が出席しました。すべてのイベントは、榛名山の山麓に湧出する伊香保温泉の老舗ホテル小暮にて行われました。久しぶりの対面式の総会ということもあり懐かしい面々と語り合う皆様の姿が印象的でした。かくいう私も静岡会の同期合格者と一緒に測量合宿で学んだ方と4半世紀ぶりに会うことができお互いの近況など報告するとともに、30歳代だった当時との過ぎ去った歳月の重みを身をもって感じさせるひと時でした。総会は、粛々と進行し、大きな議題は当猪飼会長が提案したブロック協議会の総会を連合会総会の前に行うという、日程変更に関するもので、承認されました。連合会総会と本会総会の間に関ブロ総会が入ってくることによって本会総会、ひいては各支部総会の日程も来年以降は前倒し

になってくることでしょう。また、当年は関ブロのゴルフ大会が長野会担当ということで長野会からの出席者はひな壇にあがり紹介を受けたりもしました。

総会を無事終え、温泉を楽しんだ後は懇親会です。ブロック内地域をバラバラに配置した宴席で、他県の方々と親睦を深められたのは大変大きな収穫でした。余興も楽しみ初日を終わりました。

翌日は群馬県出身の落語家の寄席を拝聴し解散となりました。



長野県土地家屋調査士会ホームページ

ホームページの更新を以前にもまして頻繁に行っています。是非、月一回は本会ホームページに立ち寄って頂ければと思います。また、いつもお願いしていることではありますが、各支部あるいは各会員でも構いませんので、皆様からの情報提供を心よりお待ちしております。また、取材活動もフットワーク軽く行っておりますのでお声かけ頂ければ幸いです。



社会事業部活動報告

社会事業部長 牛越 一 明

社会事業部の主な活動として出前講座があります。

信州大学農学部 の 2 学年生 30 数名を対象に令和 4 年 7 月 26 日に出前講座を実施しました。測量の基本的なことからについての座学につき、キャンパス内のグラウンドにおいて、GNSS 観測により事前に地中に埋設しておいた各自の学籍番号を記録してあるテープの探索と、ST 観測による 4 級基準点測量を全員に体験してもらいました。その後、教室に戻り実習のまとめと広報部による調査士の説明、グッズの配布で出前講座は終了となりました。大学にはない最新機材に触れることが出来て印象に残ったのではないかと思います。

信州大学経法学部では、学生自身が土地を購入することを想定した一連の授業において、土

地家屋調査士の関わりや地積測量図の役割についての出前講座を令和 4 年 9 月 12 日に実施しました。まず、登記制度、土地、筆界等の概要を説明し、次に「不動産売買と土地家屋調査士の役割」についてと、土地の表題部、法務局での調査、分筆などについて説明しました。最後に「地積測量図について」の説明ですが、実際に登記されている信州大学松本キャンパスの登記事項と地積測量図を使って説明しました。任意座標と世界測地系の違いについての質問があり、災害が多発する今日、境界点復元能力が高い世界測地系で測量することが重要であることを伝えました。

その後、中庭に移動して 2 班に分かれての測量体験を実施しました。GNSS を使った基準点の復元確認と TS を使った基準点からの境界点の測設確認を参加学生 8 人全員に体験していた



農学部



経法学部

だきました。後日、司法書士会による出前講座があり、土地の購入手続きが完了になるとのことでした。

出前講座を通じ、表示登記制度の理解と土地家屋調査士の役割について少しでも多くの人に伝わることを願っています。

政治連盟に加入しましょう
政治連盟は調査士制度発展のために
力を尽くします

長野県土地家屋調査士政治連盟

会長 松本 誠吾
〒380-0872 長野市大字南長野妻科399番地2
電話 026-232-4566
FAX 026-232-4601

関東ブロック協議会親睦ゴルフ大会 第39回 長野大会

前夜祭 令和4年10月16日(日) ホテルメトロポリタン長野
 ゴルフ大会 令和4年10月17日(月) 長野カントリークラブ 飯綱・戸隠・高妻コース
 表彰式 令和4年10月17日(月) 長野カントリークラブ

11年ぶりに長野に関ブロゴルフ大会が帰って来ました。前日より、盛沢山の各種イベントを用意した前夜祭から大いに盛り上がり、その余韻を残しながら、翌日、ラウンドが盛会に開催されました。大会当日の天候が2、3日前から心配されていましたが、当日は、時折太陽が顔

を出す曇り模様の中、さすがに大会に参加するだけあって、上手なプレーがそこここに見られました。我が長野会としても、ベスト10に3名も名を連ねる成果となりました。また、ホスト会としても、大変評判が良く、かつてない良い大会であるとお声をいただきました。

順位	参加者氏名	単位会	飯綱	戸隠	高妻	GROSS	HDCP	NET	GROSS順位	備考
優勝	稲葉健太郎	神奈川	48		40	88	18	70	4	
準優勝	須藤竜太	千葉		47	54	101	28.8	72.2	34	
3	藤本秀昭	山梨	49	57		106	33.6	72.4	47	
4	靱山志基	長野	45		53	98	25.2	72.8	26	
5	筒井賢一	長野	45		45	90	16.8	73.2	7	
6	山室健三	長野	45	42		87	13.2	73.8	2	
7	鈴木泰介	千葉		46	46	92	18	74	11	
8	谷黒久男	茨城		47	43	90	15.6	74.4	7	
9	石垣 博	神奈川		45	45	90	15.6	74.4	7	
10	野城 宏	東京		48	48	96	21.6	74.4	21	
11	漆畑雄一郎	静岡		51	51	102	27.6	74.4	36	
12	和田 昭	茨城	43		40	83	8.4	74.6	1	
13	竹澤賢治	長野		44	44	88	13.2	74.8	4	
14	小保方廣幸	群馬		44	56	100	25.2	74.8	31	
15	小野沢圭介	神奈川		43	44	87	12	75	2	飛賞
16	中村拓司	神奈川	56	49		105	30	75	45	
17	袴田雅俊	静岡	44		48	92	16.8	75.2	11	
18	山崎 淳	静岡	44		48	92	16.8	75.2	11	
19	東野勝一	栃木	51	53		104	28.8	75.2	42	
20	本田雅一	静岡		47	50	97	21.6	75.4	23	飛賞

※上位20位までの方を掲載しました

関東ブロック協議会親睦ゴルフ長野大会の奮闘記

準備委員会 運営委員長 海野正寿

本稿を大会準備委員競技担当として参画されるも今春逝去された故小林孝夫会員に捧ぐ。

今、ゴルフと冗談好きのあなたの笑顔を思い浮かべながらこれを書いています。

私はゴルフをやりません、と言いつけ25年。青空の下、気心の知れた仲間とプレーする楽しさは知っていますが、付き合いコンペが嫌でクラブを捨てたのであります。今回関ブロ協議会親睦ゴルフ大会が11年ぶりの長野会の当番であるとはなんとという運命の巡りあわせか。ゴルフやりませんは通用せず私が運営委員長に指名されるとは晴天のヘキレキ。しかもシャイな私が前夜祭担当とは。イガイでした会長。それでも同じ支部の頼れるK先輩が運営委員にいてことで何とかなるかと腹をくくった矢先、その戦力を失いオーマイガー！ そんな傷心と不安の中、準備委員会がスタートし、イベント企画・出演交渉から賞品の買い出しまで東奔西走した一年でした。

ご尽力いただいた運営委員の皆様、長野支部の協力員の皆様、本当にお疲れ様でございました。皆さんのおかげで長野会の「おもてなしの心」は関東ブロック各会に伝わり伝説としてこの先語り草になるものと確信しています。

まず遠方からの会員のためにホテル駐車場やゴルフ会場にノボリ旗を持ち立ち続けてくれた総務部のMさんK君。このカーナビの時代、不要ではないかという私に「いえ、これもおもて

なしです!」と言い切った彼らの姿勢に私は感涙にむせびました。また前夜祭を盛り上げるため蕎麦の早食い大会を企画し大いに盛り上げてくれた総務のN部長。当初の企画会議で、早食い大会なんてお下品だし詰まらせたりしたら大変だからリンゴの皮むき大会とかどーお?と言ったあの時の弱腰の私の発言は撤回させて下さい。もしもの時の汚物用ポリバケツ・私の手作りのgive up札は使われることなく無駄になりましたけどそんなことはどうでもいいのです。ステージ脇でマイク片手に盛り上げるあなたの姿が頼もしく眩しかったのはスポットライトの当たり所のせいではありませんまい。あれはまさしく後光でした。

そして蕎麦の早食い大会に参加し大いに盛り上げてくれた各会代表の諸君へ。正直こんなに真剣になるとは予想していませんでした。あんたもすきねえ〜。信州といえば蕎麦! と銘打ちそば処のノボリ旗で演出し参加をお願いしました。きっとそば通の方でしょうか、出場したどなたかが私にこの蕎麦は戸隠か更科かとお尋ねになりましたね。新蕎麦の時期でもありますものね。私はホテルマネージャーに聞きに行きました。マネージャーは厨房に走りました。そして返ってきた答えが「これは名もなき乾麺です。」「・・・」私はひっくり返りそうになりました。あの時真実をお伝え出来ずすみません。

前夜祭後半は気を取り直してメインステージ、清水アキラのトーク&ライブショー。

清水アキラ氏は山ノ内町の出身でお父様が土

地家屋調査士であったことを長野会でもご存じの方は少ないかもしれません。私は同じ飯山支部の先輩から話を聞いておりました。今回会長の発案で急遽出演依頼を行い、地元出身と土地家屋調査士つながりを強調してマネージャーとの値引き交渉の末、出演決定されました。それまで出演を押さえていた地元タレントをキャンセルすることになるという展開となり関係者にはお詫び行脚となりましたが。

会長の意向で当日まで清水アキラショーについてはサプライズ極秘事項とされましたので登場した時はドカンと盛り上がりました。土地家屋調査士つながりをネタにした会長とのトークも会場全体の興味を引き付けました。値引きのせいか期待したセロテープ芸こそなかったもののさすがの芸人魂を感じ感動しました。ただ清水アキラ氏当人はディナーショーと勘違いなさってたご様子。オヤジたちの宴会と伝えたはずですが。「ショーはディナーの後に」との突如の指示で結局閉会予定時間が30分ほど延びましたがホテル側のご厚意にも感謝です。こうして前夜祭は成功裏に幕を閉じ、興奮と余韻を残しながら長野の夜は更けていきました。

翌日は早朝よりスタッフはゴルフ会場へ。朝食をとる時間もなく会場へ向かった皆さんでした。長野支部の協力によりTSで飛距離の計測も行われました。広報部の面々は各出発ホールでの写真撮影。皆それぞれの分担をこなしてくれました。たぶん本誌には彼らの写真が載ることでしょうね。楽しみです。

大きな天気の影響もなくプレーは順調に運営された様子。その間ゴルフしない組は本物の戸隠蕎麦と紅葉狩りをつかのみ楽しませて頂きました。会場に戻り設営が終わる頃ホールアウト

しクラブハウスに満足げに帰ってくる面々、その中になんと大量の地キノコを手にした会長が。だいぶ林をお彷徨いになったご様子。ゴルフにはそんな楽しみもあるんですね？あれを食したかどうかは不明ですがゴルフ場のキノコは危険では？会長、せめて任期中は御身大切に。

ところで今回苦労したのは賞品選定。信州産のぶどうやリンゴ、新米にきのこ、小布施栗に地酒などを用意し表彰式会場の設営。県外の参加者の喜ぶ顔を予想しながら選定したのですが、蓋を開けてみれば賞を総なめにしたのは、なんと実行委員のY君でした。少しは空気読めよY君。蕎麦早食い大会に長野会から出場したT副会長だって当番会が目立ってはいけなさと力抜き遠慮したってよ。今回目玉賞品のひとつとして「松茸」を用意しようと松茸山に近い上田のM輪会員に手配をお願いしましたがやはり地のものは入手確約困難とのことで断念しました。でも無くて良かったです。松茸までY君に持っていかれたとしたら・・・私は表彰式場で卒倒していたと思います。

表彰式も無事終わり怒涛の二日間の大会の幕は下りました。

ゴルフ大会予算は計上してあるとはいえ無駄を省くことを強いられつつ盛大に盛り上げおもてなしをすることが使命でした。現場は無事終了。そろそろ伝票整理は終わった頃かな。本会経理のT局長とK女史、あとはよろしくね。

会場の片付けを終え、満足な表情でお帰りになる皆さんを見送り、私も最後に帰ろうとすると駐車場に残る一台の車が。見るとそこには夕日を背にたくさんの賞品をひとり積み込むY会員の後ろ姿がありました。

前夜祭



各会の代表者による鏡割り

蕎麦の早食い大会
結構な盛のざるを
2枚挑戦

お得意のナンバーを
多数披露



猪飼会長と清水アキラ氏による和やかな対談

前夜祭



アントニオ猪木のパフォーマンスを披露する松本相談役
この後、栃木会の東野氏に喝を入れられました…

表彰式



記念品を受取る 栃木会名誉会長 東野勝一氏



大会ラウンド前の記念撮影

右から2番目が長野会首位で4位の笈山氏（寄稿者）

※なお、ラウンド中の撮影はメンタルを乱すため、ご遠慮しました

第39回 関東ブロック協議会親睦ゴルフ長野大会に参加して

松本支部 初山 志基

なんで私が原稿を書いているかという
と・・・成績が良かったからですね～ 約80名
参加中第4位。長野県で1位だから原稿を書け
と。当日原稿を書く役になることが分かってい
れば組み合わせ表とか大切に保管していただろ
うが、まさかこんなことになるなんて・・・全部
捨ててしまったよ。成績が良かった経験が無い
ものだから。

さて、かろうじてメールに残っていた開催要
項によると、10月17日の月曜日に長野カント
リークラブで開催されたようです。私は当日の
みの参加でしたが、本会・支部役員の方々は前
日、前夜祭からの参加で、うわさを聞くと他県
のお客様の接待に相当頑張ったようです。大変
お疲れ様でございました。

私はこの関ブロゴルフ大会、前回長野会が当
番だった時以来の参加なのですが、同じ組にい
らした他県理事の方々の話によると例年（近
年？）この大会は天気が悪いらしいです。誰の
せいなのかは誰も言いませんが。で、この日も
朝から怪しい空模様です。一日天気が持ってく
ればいいなと思いながらスタートホールに行

くと・・・トラが据わっているではありませんか。
ここのゴルフ場は27ホールあって、スタート
ホール三か所ありますから、三班用意したんで
すね？ドラコンの飛距離を測定するために。

調子はいつも通り。良いのもあれば、とん
でもないものもあるのですが、同じ組の方々と仕事
の情報交換も交えながら一日楽しくゴルフをす
ることが出来ました。ホールアウトした後に結
構な雨が降ってきましたが、ラウンド中はゴル
フ日和と言える暑くも無く寒くも無くの良い天
気に恵まれました。表彰式では同組の中に優勝
者、ベストグロスの方が居まして、同伴競技者
に恵まれて優勝スピーチではよく耳にする言
葉ですが、第四位の私にも言わせてください。
同伴競技者に恵まれて良い成績を収めることが
出来ました。一緒にまわっていただいた長野支
部中村先生、神奈川会稲葉先生、茨城会和田先
生、どうもありがとうございました。

最後になりますが、企画・運営をされました
役員の皆様はもとより、プレーをしないで受付、
駐車場案内、写真撮影、飛距離測定等々を担当
され裏方に回られた皆様方に感謝申し上げます。

支部だより

長野支部活動報告「無料相談会」について

長野支部 本保雅規

長野支部では奇数月の最終月曜日に長野支部無料相談会を開催しています。本会会館2階をお借りして13時30分～16時までの開催となります。昔の資料を見てみると平成25年9月14日に第一回が行われています。一回目の相談者は4名と全員土地の境の相談であると記録されています。当時は信毎の無料広告で広報していました。現在では長野市報、長野市民新聞、長野市と千曲市の市民課窓口にかかれた封筒への掲載で広報しています。

長野市報で知ったと毎回2, 3人の相談者がやってきます。やはり断然多い相談は境の悩みであり、些細な案件や感情的になってしまう方まで本当に様々です。時には物凄い量の資料を持参する方もいます。時間は30分程度と説明させて頂きますが中々終わらずに1時間以上しゃべり続ける場合もあります。でも皆さん最後はガスが抜けてスッキリした顔でお帰りになります。

今では大分浸透し、県の土尻川砂防事務所の職員が相談に来られて、山の中に堰堤を作りたいが公図が合わない等の相談がありました。調査士の相談員からのアドバイスでとても助かったと喜んで頂きました。また利用させて頂きたいと、ありがたいお言葉も頂きました。

受付時には事前にどのような相談かと簡単にお

聞きしていますが、耐震性を見てもらいたい、土地、家屋の値段が知りたい、空家を有効活用したい等、我々の無料相談会に合わない申し込みもありますが、別の団体を紹介しています。

相談員は毎回役員で持ち回り、研修として新人一人を補助者として同席させ若手相談員の育成にも努めています。最近では土地家屋調査士の知名度も上がって来たような感じもしますが、今後益々知れ渡るように無料相談会を通じて広く広報していきたいと考えています。

こんなとき、
土地家屋調査士の出番です!

- 
- ◇土地の境界がわからない
 - ◇土地の面積を知りたい
 - ◇宅地に変更したい
 - ◇建物登記をしてなかった
 - ◇新築(増築)した
 - ◇取り壊した

無料相談会を実施しています

～奇数月最終月曜日/13:30～16:00/予約不要～
相談会担当 本保 TEL.026-273-8120

長野県土地家屋調査士会 長野支部

〒380-0872

長野市大字南長野妻科399番地2

TEL:026-232-4566

<https://www.nagano-chosashi.org/>

領納
給付

ビロ
書



長野県土地家屋調査士会

飯山支部の様子

飯山支部長 小林 敏 則

飯山支部では、令和4年11月29日、毎年恒例となっている「年末研修会・忘年会」を、山ノ内町渋温泉の渋ホテルで一泊二日の日程で行いました。

研修会の第1部は、本会副会長で、飯山支部では研修担当理事の海野会員に講師をしていただき、飯山支部会員だけで行われました。

海野会員が早朝（夜中？）3時から研修の準備をしていただいたおかげで、わかりやすく、支部会員の仲間同士ということもあり、自由で活発な意見交換が行われ、日常業務に大変役立つ研修となりました。

休憩をはさみ行われた第2部は、長野地方法務局飯山支局から、渡邊支局長、斎藤統括登記官を講師としてお招きし開催されました。

主に「ネットワーク型RTK法による単点観測法に基づき行う登記多角点測量マニュアル」に関することや、改訂された「土地建物実地調査要領」等について研修していただき、和やかな中にも緊張感ある有意義な研修となりました。

研修会終了後、法務局職員のお二人は帰られてしまい、残念ながら懇親会にご参加いただけず短い時間でしたが、日頃お話をすることの少ない職員の方を知る、良い機会にもなりました。

研修会後の忘年会は浴衣で膝を交え親睦を深め、二次会は雨の降る中、山ノ内町の温泉街へ。久しぶりに温泉街の夜を堪能できた、少し早い忘年会となりました。

飯山支部では平成28年から公益社団法人長野県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の社員を中心に中野市発注の19条5項地図混乱解消業務を受注して、基準点の設置から行い、国土調査や登記所備付地図作成業務と同等の作業を、中野市道路河川課の職員と協力して業務を行っています。

今年、3地区目となる19条5項地図混乱解消業務について、国土交通省から19条5項指定を受けることができました。このような業務に参加することは土地家屋調査士の知名度アップにもつながっていると思います。

コロナウイルスの影響で、飯山支部の行事も思うように行えていませんが、感染拡大に十分注意しながら、今後も研修会、懇親会など小さい支部ながらも、元気な飯山支部らしい活動を続けていきたいと考えています。これからも飯山支部をよろしく願います。



伊那市中学生キャリアフェス出展

伊那支部長 山本修司

令和4年11月10日伊那市民体育館において、「伊那市への愛着を深め、将来の伊那市の人材を育成する」という目的で、伊那地域の官公署、企業、団体が自分たちの職業を中学生に紹介する催しが開催されました。毎年行われていますが、コロナ禍のため私たち調査士会伊那支部は、しばらく出展を見合わせており今年は3年ぶりの参加になりました。

開催直前になって、コロナ感染者が急増したため一時は中止も危ぶまれましたが、徹底した感染防止対策により500名以上の中学生の参加があって、無事開催にこぎ着けました。5メートル四方のスペースが各団体に割り当てられ、80余の団体がそれぞれに工夫を凝らした飾り付けをして、会場巡りをする中学生の関心をいかに引きつけ、自分たちのところへ呼び込もうかと一生懸命になりました。

土地家屋調査士という地味な職業のため中学生が関心を示してくれるかどうか、心配しましたが、連合会で活躍されている平泉会員がパソコンとドローンを駆使し、ドローンで撮影した写真を見せながら、登記簿や地図の説明をし、ついには職業の紹介にまで持って行ってしまうという熱演により、多くの生徒が立ち寄ってくれ、用意したグッズもほとんどなくなりました。

機械に関心のある男子生徒には好評だったと思います。調査士は地味だが社会に必要な仕事だということまでは分かってくれなくても良いけれど、これを機にこの仕事に関心を持ってくれたら良いと思いました。

ご協力いただいた支部の皆様、スタッフの皆様大変お疲れ様でした。グッズを用意してくれた本会の皆様ありがとうございました。



飯田支部親睦会

飯田支部 早川嘉幸

令和4年10月22日小春日和の中、飯田支部の親睦会の囲碁ゴルフ大会が盛大に開催されました。

熱戦の結果、私が所属するBチーム、伊藤文則・早川嘉幸ペアが優勝しました。

思い返せば私は、子どもの頃より天性の運動音痴で野球、サッカー、卓球等々まるでダメダメでした。友達に『早川と同じチームになるといつも負ける』などによく言われているほどでした。

さて当日を振り返っていきましょう。

午後1時30分に下山区民会館に9名が集合、囲碁ゴルフマット2面作り、練習が始まりました。(初心者経験者の真似をしながら)初心者の私もスティックでボールを打つとマットの外にゴロゴロと転がり落ち、慎重に打つとだぶり、マットを叩き、時にはシャンクをしてボールの方向は全く定まらず、不安なまま練習の時間が終わりました。

開会式

先ずは、金田支部長の挨拶と戦いに向けての意気込みが熱く語られました。

その後の伊藤副支部長のルール説明では、猛者達からいくつか質問がありました。

Q：「個人戦かチーム戦か？」

A：チーム戦です。

Q：「白と黒のボールは何なのか」

A：それぞれのチームのボールの色です。

Q：「一人で10個全部打つの」

A：交互に打ちます。

Q：「点数のつけ方は」

A：五目並べです、3目以上で点数です。

(心の叫び) 私と同じだ、ルールがわからん、まあとにかく穴にボール入れればいいか。

ルールの説明が終わり、くじ引きによりチーム分けです、4チーム総当たり戦です。

私は、Bを引き伊藤副支部長とチームを組むことになりました。

第1試合は、金田支部長率いるAチームとの対戦です。(Aチーム 偉い方。ゴルフ上手。双子のパパ)、1局から3局までは、お互いにライン出来ず団子状態、4局目私たちに3目ライン完成(偶然天運ラッキー) 敵の頭脳プレイに苦しんだがAチームに勝利。

第2試合Dチームとの対戦です。(Dチーム 男女混合。元野球少年。) お互いに3目ラインを一と、筋肉パワーとストレートプレイに押されるが5局で3目ラインが偶然でき、Dチームに勝利(天運ラッキー)。

第3試合は、平林広報部長率いるCチームと



の対戦です。(Cチーム 同年くん。元陸上部)、Cチームに4目ラインを先制される3局目に私たちに4目ラインできる、試合は振り出し4局目に突入、作戦会議中に隣のマットで怒涛の歓声、見るとボールでなくヘッドがマットのボールを弾き飛ばしていました、バッターボックスに立っていたのは元野球少年(クラッシャーだぜ)。



勝負強さとガムシャラプレイに苦しみライン得点は同点でしたがポイント点数が及ばず、私たちの負け(粘り強く---戦ったのだが、悔しい。)Cチームの勝利。

と発表され、それぞれが賞品受け取り、みんな笑み、特に私は満面の笑み。

試合終了、すべての熱戦が終わりました。

あの1打が良かった、団子状態のボールに当たりラインができた、斜め45度の1打、ヘッドが飛んだのはBチーム陰謀説を唱える人、あの1打を打ち直したいと後悔する人、ビール片手に話に花が咲く。

懇親会にいざ出陣!

焼肉店に布陣、焼肉を食べながら成績発表、Aチーム、Bチーム、Cチーム共に2勝1敗ラインポイント差で、あの頃では考えられない私の、私たちのBチームが優勝。

皆なぜか鉄板にきれいな焼肉ライン。

2位Cチーム、3位Aチーム、4位Dチーム

笑いと共に秋の夜は更けていきました-----夜明けのコーヒーまで。

令和4年度 調査士会飯田支部囲碁ボール対戦成績表

	対 戦 相 手				勝	分	敗	得 点	順位
	A	B	C	D					
A		① - - - 21	③ 2 - - 24	⑤ 3 - - 21	2	0	1	5 0 0 66	3
B	① 1 - - 22		⑥ - 1 - 13	④ 2 - - 23	2	0	1	3 1 0 58	1
C	③ - - - 22	⑥ - 1 - 14		② - - - 22	2	0	1	0 1 0 58	2
D	⑤ - - - 20	④ 1 - - 24	② - - - 20		0	0	3	1 - - 64	4

成績順位

- 1位 [B] 早川・伊藤
- 2位 [C] 石川・平林
- 3位 [A] 唐澤・金田・日置
- 4位 [D] 久保田・仲田

ライン得点	ライン得点	ライン得点	勝
5 日	4 日	3 日	
ポイント得点			敗

松本支部について

松本支部長 筒井 賢一

早いもので支部長になって1年半以上経過してしまいました。私の就任時の挨拶を見返したところ、「ワクチン接種が始まったので収束へのカウントダウンが始まったように思う。」と書いてありましたが、ワクチン効果は皆無で収束の心配すらなく、むしろ第8波が始まっているようです。

先日サッカーワールドカップが始まったのでミーハーな私もテレビに嘯り付いていますが、目を見張るのは世界最高峰のプレーもさることながら、8万人にも及ぶ大観衆の誰一人マスクをしていないという事です。カタルではもう「インフルエンザのようなもの」と考えられているとネット記事にありました。感染拡大も大分収まっているようです。

またゴルフ好きな私はアメリカのPGAツアーの試合も毎週のように観ているのですが、コロナが蔓延し始めた3年前から観客のほぼ全員がマスクをしていませんでした。

マスク好きの日本人はほぼ全員がマスクをしているのに一向に収束の心配はなし。マスクをしない諸外国は収束までは行かずとも爆発的な感染拡大はしていない。

マスクの効果は如何ほどなのでしょう。夏は暑いし、メガネは曇るし、一刻も早くマスクのない生活に戻りたいのですが日本では無理なんではなかね。

話は変わりますが、松本支部では毎年二泊三日で支部研修旅行を行っております。コロナ禍でも何とか行いたい松本支部の重要な行事です。

去年は第5波と第6波の間に一泊二日に短縮して感染者の少ない北陸方面へ行くことが出来ました。そして今年は第7波と第8波の間に例年通りの二泊三日で四国方面へ行ってきました。例年はバス後部座席がサロンになっていてM下先生を囲んで大騒ぎをしていましたが、今年はバス会社の規則でサロンがなかったのでいつものような深いコミュニケーションは取れず残念でした。しかし二日目の夜の大宴会では参加者全員で仲居さんと一緒に高知の「よさこい」を踊り最高に盛り上がりました。初めて参加した新入会員も松本支部の旅行の雰囲気がとても良く、来年も是非参加したいと言ってくれたのが嬉しかったです。

来年も必ず開催できる事を願って止みません。

残り僅かな任期ではありますが、理事の仲間と百瀬事務長としっかり勤め上げたいと思いますので何卒宜しくお願い致します。



大町支部表示登記研究会を終えて

大町支部 傳 刀 義 正

11月も下旬を迎え北アルプス連峰にも雪が降り真白な状況になってきました。古くより山に7回雪が降ると里にも降るといふ言い伝えがありもうすでに5回程山に雪が降りましたので里に降ってくるのも秒読みの段階となってきました。昨年はどちらかという大町も豪雪に近い状況でしたがその前の年はほとんど降雪が無い状態でしたので今年はまた豪雪なのかそれとも雪が少量しか降らないのか読めない状況です。しかしながら長年の慣習からクリスマスに雪が無いというのも又少し寂しい気がしています。さて大町を含めた大北地域もコロナウイルスの感染者が増加傾向となってきており、いつ終息に向かうか一向に先が見えない状況が続いています。毎朝体温をチェックし妻から新しいマスクを渡されマスクが片時も手放せない状況であり、こんな状況がある意味世の中普通であたかも当たり前の状況になっている気がしますが、少し冷静になって考えるとつくづくおかしな世の中になって来たなと実感するこの頃です。

さて11月18日長野地方法務局大町支局にて毎年実施されている表示登記研究会が開催されま

した。例年ですと大町支局の統括登記官及び表示登記官と我々大町支部の調査士との間で登記官からの連絡事項、質疑応答等約1時間30分程実施してきましたが今年は大町支局から篠田統括登記官、法務局本局から山崎次席登記官、和田総括表示登記専門官が出席していただき、我々大町支部調査士10名と特に土地建物実施調査要領の一部改正につき3名の登記官の方から説明を受けました。立会証明書の添付について等詳細に又非常に丁寧な説明をしていただき、大変我々大町支部の調査士一同、改正につき理解することができました。その後質疑応答となり、普段我々調査士が疑問に思っている事項についての質疑応答で、予定をしていた時間を少し過ぎるくらいの濃密な表示登記研究会となり、法務局の皆様には非常に感謝をしている次第です。来年も又表示登記研究会が実施されることを希望しています。

最後に大町地区もこれから厳しい冬期間を迎えると共にコロナ等で世の中が不安定な状況ですがいつの日かまたコロナ前の世の中に戻る事を強く願っています。

信州青年土地家屋調査士会 活動報告

長野支部 北條 誠治

去る10月29日に第4回定時総会を開催し、新たな年度の活動を開始しました。

信州青調会は交流親睦を通じて学びあうをモットーに会員20余名にて活動をしています。

令和3年～4年では、Web開催であった第17回全国青年土地家屋調査士大会in広島への参加、同じくWeb開催の青調会関東ブロック代表者会議への参加がありました。信州青調会としては各種メーカーVRSの実測比較、ドローン自動航行試運転、数学勉強会、懇親会を行いました。

11月11、12日に青調会関東ブロック大会in山梨に、信州青調会から4名で参加してきました。11都県から人数を各都県4名までに限定していたとは言え、総勢40名ほどの盛大な大会となりました。1日目はリニア見学・ワイナリーツアー・懇親会、2日目にテレビ番組「沸騰ワード10」などに出演されている司法書士であり苗字研究家の高信幸男氏による講演会を聴講しました。

次回の青調会関東ブロック大会開催地の決をとったところ、長野が推挙され、圧倒的多数により、長野開催と決定になりました。土地家屋調査士制度発祥の地での開催機会ですので、楽しく実りある大会となれば良いと思います。来年開催となりますと信州の秋の味覚を堪能する10月中下旬ごろと考えています。青調会の集まりは各都道府県の青年調査士会、ひいては全国の土地家屋調査士と交流するベースになるものと感じます。

数学勉強会の模様をYouTubeにアップしています。青調会に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、長野支部北條誠治までお気軽にご連絡ください。



<https://www.youtube.com/watch?v=yWjaHlKpncw>



詰将棋

第39回



※解答は42ページにて掲載
(長野支部 北原 匡尚)

【第1図は初期局面】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										飛玉
二				歩				歩		
三				角	歩	歩	歩			
四										
五										
六										
七										
八										
九										

▲ 先手 飛角金

編集後記

皆様、あけましておめでとうございます。

今年は卯年です。ウサギと言えば「耳」、汗腺が発達していないウサギは、その大きな耳に風をあてる事で体温調節をしたり、時には耳の状態によって感情表現さえしているそうです。もちろん、本来の耳の機能としては、大草原に生息しているため、左右の耳を別方向に動かして360度の範囲のレーダーになると共に、純粹に聞く機能としては3km先の音まで聞く事が出来るそうです。

ところで、普段「聞く」と「聴く」の使い分けて微妙だと思えます。違いをググったら、「聞く」は、自然にただ黙っていても聞こえてくるものを聞く事、

「聴く」は「聞く」よりも、より積極的に聴く事だそうです。相手とコミュニケーションを

取ろうとする際、最初は相手の話を聞いて、より深く相手の感情や言葉を理解する状態になった時、「聴いている」そうです。

我々も業務上、依頼者の話を聞く機会が非常に多いと思います。責任を持って仕事を遂行するためにも、より丁寧に依頼者の話を聴く様にしたいものです。

コロナ禍も一喜一憂を繰り返しながら、相変わらず波を繰り返していますが、与えられた仕事をこなす事しか術はないので、何事に対しても「聴く」努力を惜しまず、くれぐれも依頼者にあいそを尽かされて、脱兎の様に仕事が無くなる事だけは避けたいものです。

本年も「会報ながの」を、何卒宜しく願いいたします。

会報編集委員長 品田尚志

第39回詰将棋の解答

【第1図】より…

- | | |
|----------------|----------|
| 1手：▲3一角成 | 2手：△同玉 |
| 3手：▲1三角 | 4手：△同飛 |
| 5手：▲4一飛 | 6手：△2二玉 |
| 7手：▲2一金 | 8手：△1二玉 |
| 9手：▲1一金 | 10手：△2二玉 |
| 11手：▲2一飛成【第2図】 | |

【第2図は▲2一飛成まで】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲								龍	金	一
					歩			王		二
						歩	歩	歩	歩	三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

▲ 先手
△ なし

会報ながの第213号

令和5年1月26日発行

発行 長野県土地家屋調査士会
会長 猪飼健一

〒380-0872
長野市大字南長野妻科399番地2

編集者 広報部

TEL 026 (232) 4566
FAX 026 (232) 4601

印刷 中外印刷(株)

URL <https://www.nagano-chosashi.org/>
E-Mail naganolb@nagano-chosashi.org



KAIHO NAGANO KAIHO NAGANO